

助成者	野川 未央	活動期間	2021年4月～2024年3月 活動中
所属機関	特定非営利活動法人 APLA	職名	事務局長／理事

インドネシア・南スラウェシのエビ養殖地域における住民主体の環境保全活動モデルの構築

【活動場所】 インドネシア 南スラウェシ州ピンラン県ランリサン郡（ランリサン村、ウエイ村）

【事業目的】 インドネシアでは行政によるゴミ処理システムが整備されておらず、住民は家庭から出る不燃ゴミ（プラスチック類・ビン類）については、家の周辺の河川に投棄する以外の選択肢がないため、地域環境に深刻な影響を及ぼしている。そうした状況に対して、地元で伝統的粗放型エビ養殖を営んできた生産者が、自分たちが依拠する水環境を守ることで経済的にも持続可能な地域を次世代に手渡したいという願いから、家庭ゴミ回収システムを構築し、そのモデルを県内に広めることを目的に実施。

ゴミ箱設置準備状況の様子



県庁への活動要請活動



【活動内容】

1年目はランリサン村、2年目はウエイ村で事業を展開。具体的活動は下記のとおり。

- ①住民説明会実施 ②住民への環境教育活動（ワークショップ、教育セミナー）
- ③自動三輪車を改造したごみ収集車の配置 ④ごみ箱制作・設置
- ⑤毎日のゴミ回収とゴミ選別作業開始 ⑥地域の清掃活動
- ⑦県庁へのロビー活動：状況報告し、今後の協力を要請

【活動状況】

コロナで1年目は現地への渡航が出来なかったが、現地共同活動団体のKONTINUEが中心となり計画どおり事業が進み順調に成果が生まれた。2年目も新たな村へ展開されたが、2022年12月高潮による洪水が発生し、養殖地のエビは多くが流失する被害を受けたため、KONTINUEは緊急支援活動に注力する必要がありゴミ回収・選別作業迄に至らず。3年目は共同活動団体をKOIN（同事業モデルを2015年から3年間支援した際の共同活動団体）へ変更し、2村の活動フォローと、事業の映像化を行う。